



景氣變動と資本蓄積

神岡鑛業株式會社副社長

杉山三郎

金屬鑛業の景氣變動は激しいと言われるが過去の統計や体験からしても誠に激しいと思う。それは單に景氣變動の波の高低が激しいと言う許りでなく常に先行すると言う事が亦その激しさを一層強く吾々に感じさせるのであろう。

それが原因に就いては茲に充分なる論究の暇はないが、

「直接軍需資材として戦争乃至戦争準備に際し急激にして莫大なる需要の擡頭と之に對應する供給増加の困難」

にその端を發し、次で、

「漸次戦争乃至その準備の進展につれ、直接軍需物資より間接基礎軍需物資（例えば石炭、勞働維持資材）へとその重點は動き、その結果として金屬鑛業は原價高となり、遂には原價割れを生ずるに至る」事となり、更に、

「戦争終末に至りては急激なる軍需の減少は膨大なる滞貨を生ぜしむる。此の時平時の金屬需要は暴騰せる金屬價格の爲に或は消費統制の爲に代用品と置き代えられ、或はその用途市場を失い、之が回復に相當年月を要する事となり、その間金屬市場は全く恐慌状態を呈する」に至るものである。

以上の如き景氣變動が今后も常に繰返されるが否かは或は異論があるかも知れないが未だ永久平和の確立されざる現段階に於ては斯る見方も亦下し得るものと思う。

そこで一昨年以來の金屬市場のブーム的好景氣を考えて見よう。

一昨年六月の價格をベースとすれば吾國に於て銅は二倍、鉛は二・六倍、亞鉛は二・五倍と何れも倍を以つて數える指數に上昇している。之に對し一般物價は一・三五倍（日銀小賣物價）にしかかつて居らない。然もその上昇は昨年半ばには既にその頂點に達して居るに不拘、賃銀、

日本鑛業協會誌（第五卷第二號）

二月號目次

▽卷頭言

☆景氣變動と資本蓄積……………

杉山三郎 一

☆松尾鑛山における物理探鑛と

其成果に就いて……………藤田義象 三

☆亞鉛雜觀……………園原巖 二〇

▽I・M・Cについて（解説）

情報課 二四

▽月間の動き……………二六

☆米國の新しい硫黄採取法

諏訪浩 二六

▽協會だより……………二五

▽ニュース……………二六

▽資料……………二七

【表紙寫眞】 日本精鑛株式會社中澤鑛業所